

# 卓話

平成 20 年 4 月 1 日

## 中小企業が考える内部統制

税理士 渡辺成洋会員

近年、中小企業を取り巻く環境はめまぐるしく変化し、20 世紀の時代には常識であった商慣行取引なども形骸化するなど、中小企業自身が自己防衛策を認識しなければ、何が起きるかわからないぐらいの危機感を感じる時代となりました。これは、企業環境だけでなく、企業自身の意識の問題や対応の鈍さに起因しており、結果、企業自身が自らの能力や現実を把握せず、その責任所在すらも理解出来ないほど、迷走して、望まない結末へのシナリオになってしまうことがあります。

そんな中で、商法が会社法になり、内部統制の重要性が議論され、認識されるようになりました。本日は改めて企業ないガバナンスの重要性を考えてみようと思います。

### 【日本の法人制度の概要】

ここでは、日本国内における法人制度を改めて認識します。

“法人制度の枠組み”をご参照下さい。



### 【日本における内部統制概念の変遷】

内部統制（ガバナンス）は歴史と変遷があります。

“日本における内部統制概念の変遷”を参照下さい。

### 【わが国の中小企業にとっての内部統制】

#### 1) わが国における中小規模企業の特長

- ア. 経営者の特長
- イ. 従業員の特長
- ウ. 税務上の特長
- エ. 財務上の特長

#### 2) 簡易版COSO内部統制ガイダンス

- ア. 「中小規模」企業の性質
- イ. 費用効果的な内部統制を構築するにあたって克服すべき課題
- ウ. 内部統制の構成要素と基本原則
- エ. 内部統制と中小規模企業

#### 3) 法人税務と内部統制

- ア. 課税所得の算出
- イ. 内部統制との係わり
- ウ. 税務調査との係わり